

東都生協LPA

ライフプラン・アドバイザー



新規企画

1

今から考えるセカンドライフのお金
不安は先が見えない中から生まれるもの。
キソから老後資金のもらい方までを学び、不安を安心にかえて自分らしい人生を！
5月28日(水)

9~11:30 イチからわかる年金制度
※「もしもし老後資金」を参考ください。【講師】北原 真樹

11~12:30 遺影撮影会①
【講師】北原 真樹

12:30~13:30 遺影撮影会②
【講師】北原 真樹

13:30~15:00 老後資金の受け取り方
【講師】北原 真樹



遺影撮影会

午前・午後に私たちLPAが講師で、年金と老後資金の税金についての学習会を行い、お昼に挟むように遺影撮影会を企画しました。遺影撮影会へのみの参加はNGとし、必ず1つでも学習会に参加していただきました。皆さん、若い可愛いカメラマンに「ステキ！すごくキレイ！」とのせられて、モデルになった気分で楽しく撮影していました。

午前・午後学習会参加者	33名
遺影撮影会参加者	17名

新規企画

2



社会保障ゲーム

日本には社会保障制度は400種類以上あると言われていますが、私たちLPAでさえもいくつ浮かんでくるか・知らないと利用することもできません。ゲームを通してどんな制度が使えるのかを考えてもらおうと、午前中に社会保障のキソの学習会をコラボして行いました。他生協のLPAさんや学生さんにも参加していただきました。

社会保障学習会参加者	22名
社会保障ゲーム参加者	22名

新規企画

3



赤十字学習会

毎年、3回の学習会を開催しておりますが、今年度から加わった「フレイル予防」の学習会を行いました。11月に行った「認知症」の学習会からベジチェック体験を合わせてみました。継続的に来るきっかけになりそうなので、今後も行っていきたいと思っています。

フレイル学習会参加者	14名
赤十字学習会トータル参加者	26名

4

講演会



- ・「私たちのくらしはどう変わる？～税金は？年金は？～」 深田 晶恵氏
 - ・「～波乱含みの相場の今～安定的にお金を増やす投資方法と心構えとは」 高山 一恵氏
 - ・「～人生100年時代に備えて～元気なうちにやっておくべきこと」 安田 まゆみ氏
- の3回開催しました。安田氏は初めての講師でしたが、再開催を求める声が多かったです。

5

学習会



- ・「今から考えるセカンドライフのお金」
 - ・「めざせ！わが家のファイナンシャル・プランナー～FP3級資格取得を目指そう！～」
 - ・「NISAを知りつくす！」
 - ・「いざという時に家族が困らないために」
- の4テーマで、私たちLPAが講師でそれぞれ1日を通して2部or3部構成で行いました。また、定番のエンディングや相続など地域の組合員活動からの依頼も数多くこなしました。

6

出前学習会

講演会や学習会に参加した方が、もう少し自分たちに落とし込んで聞いてみたいということで、依頼されることが多くなってきました。昨年度は投資関係が圧倒的に多かったのですが、今年は相続や定年間近の社会保険や税金についてなどが多くなってきた印象です。職員の方からの依頼も少しずつ増えてきました。

出前保障相談

最近では保障相談に行っても以前のように、まったくわからなくて入っているというよりは、以前はこう思って入ったけどこのままでいいのかしら？という依頼が増えてきている印象です。また、他の学習会に参加いただき、その後に保険も見てもらいたいとつながるケースも増えてきているように感じています。

7

地域からの学習会



- ・「今さら聞けない 共済って何？」
 - ・「ライフプラン お金の未来図」
 - ・「FPに聞く セカンドライフのお悩み解消」
 - ・「父子でお買い物～もちピザ」 「経済ゲーム」
 - ・「元気な今 考えておきたいこと」
 - ・「エンディングノート～書くときのポイントと書いてもらうためのヒント」
 - ・「知っておいて損はない相続」
- 各地域からたくさんの依頼が来ました。2人の得意分野でそれぞれ対応しました。

私たち東都生協LPAは、2025年度は今までとは違った新しい企画をやりたいと、様々なイベント、セミナーなどに参加し情報を集め例年通り、企画から広報・当日の運営・報告までのすべてを2人で行いました。昨年は限界を超えて駆け抜けたので、今年は少しギアを落として行いましたが、新しい企画により参加者の幅も増え、満足して帰られる方が多かったように感じました。生協内広報誌で昨年度アピール表彰で1位を頂いたことを掲載したこともあってか、定年間近の職員の相談も増え、少しずつ生協内の認知度が上がっているようにも感じました。川柳は、初めて申込用紙をなくして、フォームでの申込のみにしたことにより、長年の常連さんの応募が減ったのではと心配もありましたが、その分 新規の応募が増えたようにも感じました。2026年度もまた2人でいろいろなことに挑戦していきたいと思っています。